

アリストテレス

2019 年本試

問 1 下線部 a に関連して，自然についての様々な考えの説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① プラトンは，現象界に現れているものはすべてアイデアを原型とするものであるため，自然界の諸事物も真実在であるとした。
- ② アリストテレスは，自然の世界では，種子が樹木に成長するのと同様に，すべてのものは可能態から現実態へと展開すると説いた。
- ③ 欲望に対する理性の優位を説いたストア派によれば，自然を支配する理法と人間理性とは別物であり，人は後者にのみ従うべきである。
- ④ 創造という概念を認めないキリスト教とは異なり，ユダヤ教では，自然界のすべてのものは，神によって創造されたと考えられている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	②	3

2018 年本試

問 4 アリストテレスの自然観の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 自然界の事物は，質料に形相が与えられることで成り立っており，事物は質料の実現という目的に向かって生成・発展していく。
- ② 自然界の事物は，質料と形相とが結び付いて成り立っており，事物は形相の実現という目的に向かって生成・発展していく。
- ③ 自然界の事物は，質料に形相が与えられることで成り立っており，形相がもつ潜在性によって，偶然的で自由な仕方で生成・発展していく。
- ④ 自然界の事物は，質料と形相とが結び付いて成り立っており，質料がもつ潜在性によって，偶然的で自由な仕方で生成・発展していく。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	14	②	3

2017年追試

問9 共生について述べた次の文章を読み、文章中の **a** ～ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **9**

アリストテレスによれば、「ポリ斯的動物」としての人間が真に幸福に生きられる共同体は、 **a** 他者を愛する「真の友愛」によって実現するとされる。こうした共同体的生を重視する考えを現代に引き継いだ **b** は、個人が社会のあり方を自由に選択できるとするリベラリズムを批判し、人間はあくまで共同体のなかで育まれてきた共通善を身に付けて生きるべきであるとした。これに対し、ハーバーマスは、自分の共同体の枠を超えて、すべての他者との対等で強制なき合意を目指す **c** を共生の基礎とする。すべての他者との合意を実現するプロセスは終わることがないだろう。このプロセスをともにする空間こそ、彼が模索する「公共性」の空間であり、グローバル化し多元的価値の衝突する現代における共生の可能性を示している。

- ① a 同じ共同体の同胞として b ノージック c 対話的理性
- ② a 同じ共同体の同胞として b ノージック c 高邁の精神
- ③ a 同じ共同体の同胞として b マッキンタイア c 対話的理性
- ④ a 同じ共同体の同胞として b マッキンタイア c 高邁の精神
- ⑤ a 互いに相手の善を願って b ノージック c 対話的理性
- ⑥ a 互いに相手の善を願って b ノージック c 高邁の精神
- ⑦ a 互いに相手の善を願って b マッキンタイア c 対話的理性
- ⑧ a 互いに相手の善を願って b マッキンタイア c 高邁の精神

問3 知恵について述べた次の文章を読み、文章中の **a** ～ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **13**

ギリシア哲学では、知恵が徳との関係で多様に論じられている。例えば、ソクラテスは、「人間は万物の尺度である」と主張した **a** のような、知者をひょうぼう標榜するソフィストと、徳について問答することで、真の知恵を求めた。さら

に、プラトンは、『国家』において理想的な国家のあり方を問うなかで、魂の徳を論じた。そこでは、知恵が、節制・・正義と並ぶ四元徳の一つとして、統治者に不可欠なものであるとされた。アリストテレスもまたにおいて、人間の優れた働きである、真理の観想や推論的な学問と一緒に、知恵を知性的徳の一つに数えた。このように、真の知恵を求める愛としての哲学は、人間の徳の探究としても、議論の深まりをみせたのである。

- ① a プロタゴラス b 勇 気 c 『ニコマコス倫理学』
- ② a プロタゴラス b 勇 気 c 『クリトン』
- ③ a プロタゴラス b 寛 容 c 『ニコマコス倫理学』
- ④ a プロタゴラス b 寛 容 c 『クリトン』
- ⑤ a ゴルギアス b 勇 気 c 『ニコマコス倫理学』
- ⑥ a ゴルギアス b 勇 気 c 『クリトン』
- ⑦ a ゴルギアス b 寛 容 c 『ニコマコス倫理学』
- ⑧ a ゴルギアス b 寛 容 c 『クリトン』

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問9	9	⑦	3
第2問	問3	13	①	3

2016 年追試

問 1 徳に関するアリストテレスの思想の説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 中庸とは，各々の状況下で極端を避けて適切に行動し得る状態のことである。そうした行動を習慣づけたならば，徳をもたなくても，常に正しく行動することができる。
- ② 部分的正義は，人々の間に公正をもたらす徳であり，弱者や困窮者に富や機会を配分する配分的正義と，取引や訴訟において当事者の利害得失を均等に保つ調整的正義とに分けられる。
- ③ 人間の魂には理性，気概，欲望の三部分がある。理性の主導のもと，三部分が固有の本分を果たすことによって知恵，勇気，節制が実現し，これら三つの部分の調和により正義の徳が実現する。
- ④ 理性の最高の徳は知恵である。この知恵の徳に基づいて，日常的な利害への関心を離れ，理性を純粹にはたらかせる観想(テオーリア)の生にこそ，人間にとって究極の幸福がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	④	3

2015 年本試

問 6 アイデア論を批判したアリストテレスについての説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 善のアイデアを追究する生き方を理想としたプラトンを批判して、善は人によって異なるので、各自が自分にとっての善を追究すべきだと説いた。
- ② 理性で捉えられるアイデアを事物の原型としたプラトンを批判して、事物が何であるかを説明する唯一の原理は、事物を構成する質料であるとした。
- ③ 永遠不変のアイデアが存在するとしたプラトンを批判して、すべては現実態から可能態へと発展するのであり、同一であり続けるものはないと述べた。
- ④ 個々の事物を離れて存在するアイデアを真の知の対象としたプラトンを批判して、個々の具体的な事物こそ探究の対象とすべきだと主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	④	2

2014 年本試

問 1 欲望に関するアリストテレスの考え方の説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 欲望を理性に従わせるためには，理性がそう命じるだけでは不十分であり，実際に欲望を抑制できるような性格の形成が必要である。
- ② 魂の理性部分がアイデアを観想してさえいれば，そのような魂は自らの欲望的部分を制御することができる。
- ③ 魂の平安のために，空腹を満たすことなどへの自然に必要な欲望だけを持ち，贅沢ぜいたくや権力などへの空しいむな欲望は捨てるべきである。
- ④ 中庸の態度を保ちつつ生きるためには，禁欲的な生活を通じて欲望を排除し，魂を浄化することが必要である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	①	3

2014 年追試

問 5 「すべての人は自然本性上知ることを欲する」という言葉から始まるアリストテレスの著作として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 『省察』
- ② 『形而上学』
- ③ 『自省録』
- ④ 『クリトン』

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	②	2

2013 年本試

問 8 愛をめぐる様々な思索について述べた次の文章を読み，文章中の **a** ～
c に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選
べ。 **19**

プラトンの説く愛(エロース)が，具体的な美への憧^{あこが}れを経て完全な美そのもの
の **a** へと向かわせる愛であるのに対して，アリストテレスの説く真の友
愛(フィリア)は， **b** のために **b** にとっての善を願い，その実践へと向
かわせる愛である。他方，『新約聖書』における愛(アガペー)とは，第一に，無
条件にすべての人に与えられる無償の神の愛のことであり，次いで，それによ
って引き起こされた人間による **c** への愛を意味する。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------|---|-----|
| ① | a | 観 想 | b | 親しい人 | c | 自 己 |
| ② | a | 創 造 | b | 親しい人 | c | 他 者 |
| ③ | a | 観 想 | b | 親しい人 | c | 他 者 |
| ④ | a | 創 造 | b | すべての人 | c | 自 己 |
| ⑤ | a | 観 想 | b | すべての人 | c | 自 己 |
| ⑥ | a | 創 造 | b | すべての人 | c | 他 者 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 9	19	③	2

2013 年追試

問 8 下線部 h に関連して、アリストテレスの社会思想として正しいものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① ポリス，民族，階級といった社会的な制約を超え，人間は誰もが普遍的な理性を分かちもつ世界市民として活動する必要がある。
- ② よりよい政治的支配を実現するためには，ポリスにとって何が善く，何が正しいかについて，真の知をもった哲人による政治が必要となる。
- ③ 人間はポリスを形成するように生まれついた存在であるので，人間本来の善さを実現するためには，共同体の一員として生きる必要がある。
- ④ 人間は万物の尺度であるので，ポリスの秩序を形成していくためには，個々人の多様な価値観を包括する寛容な社会の実現が必要となる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 8	19	③	3

2012 年本試

問 1 古代ギリシア・ローマでは様々な仕方で善について考えられてきたが、その説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① ストア派は、宇宙を貫く理法(ロゴス)に従って生きることによって得られる精神的快楽を幸福とみなし、この幸福を最高善として理解した。
- ② プロタゴラスは、最高の真実在である善そのものを万物の尺度とみなし、それを認識した哲学者が国家を支配すべきであると説いた。
- ③ アリストテレスは、理性を人間に固有の能力とみなし、人間にとっては理性に基づく魂の優れた活動こそが最高善であると考えた。
- ④ エピク羅斯は、物事の尺度は相対的なものであり、各人ごとに異なるため、善についての普遍的な判断というものはないと主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	4	③	3

2010 年追試

問 2 アリストテレスの説いた徳についての記述として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 魂の^{そな}えるべき徳についての正しい知識をもてば，その知に導かれて善く生きることができるとした。
- ② 信仰，希望，愛の三つを基本的な徳であるとし，なかでも，人間の意志を動かすものとしての愛を重視した。
- ③ 人間の魂が^{かか}えるべき徳を，知性の働きに関わるものと習慣づけによって形成される性格に関わるものに分けた。
- ④ 徳とは，宇宙全体と調和して生きるために理性や意志によって欲を抑制する禁欲主義的な力であるとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	③	2

2009 年本試

問 3 アリストテレスの「調整的正義（矯正的正義）」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 各人の業績を精査し，それぞれの成果に応じて報酬を配分すること
- ② 加害者を裁いて罰を与え，被害者に補償を与えて公平にすること
- ③ 知性的徳を備えた人が習性的徳を備え，完全に正しい人になること
- ④ 法的秩序を保ち，人間として正しい行為をする状態に市民を導くこと

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	7	②	2

2009 年追試

問 2 我々は他者との関係のなかで生きていることに関連して、アリストテレスが述べた言葉として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 自然に従って生きよ。
- ② 人間はポリス的動物である。
- ③ 万物は流転する。
- ④ 人間は万物の尺度である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	②	2

2008 年追試

問 2 古代ギリシアの思想家アリストテレスの主張の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 人間にとって最高に幸福な生活とは、観想によって把握された真理に基づいて政治的実践を営む生活である。
- ② 真の友愛は、自分にとっての快楽や有用性のみに基づくものではなく、善き人々の間で相手のために善を願うものである。
- ③ 個物から離れて実在する超越的な形相が、感覚的な質料と結びつくことによって、この世界の様々な事物が生成する。
- ④ 各人の判断こそが善や正義などの基準であり、自らの経験と観察を重んじることによって知識が得られる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	②	3

2007 年本試

問 4 アリストテレスが用いている中庸の例の記述として最も適当なものを，次の

①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 恐れるべきものとそうでないものを正しく判断できるように知的訓練を積むことで，勇気のある人になる。
- ② 金銭や財に関して，必要以上に惜しんだり浪費したりしないよう習慣づけることで，おおらかな人になる。
- ③ 神の知をもっていないと自覚することで，最大の無知から解放され，人間にふさわしい知恵を得ることができる。
- ④ 極端な快楽と極端な禁欲を避けながら，静かな修道生活を送ることで，心の平安を得ることができる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	②	3

2006 年追試

問 3 アリストテレスの思想に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 互いに異なる国々の慣習や文化を比較して，自国の諸制度に合わせて取り入れる調整的正義を説いている。
- ② 共同体的存在である人間が，社会における役割分担を推進するために必要とされる配分的正義を説いている。
- ③ 取引や裁判などにおいて，各人の利害や得失の不均衡を公平になるように是正する調整的正義を説いている。
- ④ 理性の徳としての知恵，気概の徳としての勇氣，欲望の徳としての節制が均等である配分的正義を説いている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	6	③	3

2004 年本試

問 3 『ニコマコス倫理学』において人間固有の働きの中でも最高の働きと評価される「テオリア」についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① テオリアとは，原理を直観的に把握する理性の働きである。
- ② テオリアとは，主に制作活動にかかわる理性の働きである。
- ③ テオリアとは，厳密な論証・推論としての理性の働きである。
- ④ テオリアとは，主に行為・実践を導く理性の働きである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	4	①	2

2004 年追試

問 2 知性的徳である思慮と習性的徳との関係を説明する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 習性的徳は，思慮が示す中庸を繰り返し選ぶことで形成される。
- ② 習性的徳は思慮を完成させるので，思慮よりも上位の徳である。
- ③ 習性的徳は，真理認識だけにかかわる思慮を原因として形成される。
- ④ 習性的徳は身体に帰属するので，思慮の働きを妨げることがある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	11	①	3

2003 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

中庸を尊ぶ考え方は、人間のより善い生き方を模索した思想家たちの間に広く見られる。例えば古代ギリシアのアリストテレスも、 としての生き方を論じた著作の中で中庸について述べている。

- ① 世界市民
- ② 選ばれた民の一人
- ③ 市民共同体の一員
- ④ 支配階層の構成員

問 4 アリストテレスは感情や行為にかかわる「中庸」の徳とそれに対応する過剰と不足の悪徳を具体的な例によって説明している。その組合せとして **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | 過 剩 | 中 庸 | 不 足 |
|---|---------------------------|-------|---------------------------|
| ① | 放 縱 <small>ほう しょう</small> | 節 制 | 鈍 感 |
| ② | 道 化 | 機 知 | 野 暮 |
| ③ | 虚 栄 | 自 尊 心 | 卑 屈 |
| ④ | 無 謀 | 正 義 | 臆 病 <small>おく びょう</small> |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	③	2
第 1 問	問 4	5	④	3

2003 年追試

問 5 人間の魂は「善そのもの」「美そのもの」といった超越的なアイデアを^み観ることによって、自らを真実の存在へと形作るというプラトンの立場に対して、アリストテレスは自己実現としての人間の幸福を別の仕方論じている。アリストテレスの幸福についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 人間の幸福とは苦痛によって乱されることのない魂の平安であり、これを
実現するには、公的生活から離れ、隠れて生きるべきである。
- ② 人間の幸福とは肉体という牢獄^{ろうごく}から魂が解放されることであり、これを
実現するには、魂に調和と秩序をもたらす音楽や数学に専心すべきである。
- ③ 人間の幸福とは自己自身への内省を通して、宇宙の理と通じ合うことにあ
り、そのためには自らの運命を心静かに受け入れることが大切である。
- ④ 人間の幸福とは行為のうちに実現しうる最高の善であり、これを
実現するためには、よき習慣づけによる倫理的徳の習得が不可欠である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	6	④	3

2002 年追試

問 2 自然の事物に関するアリストテレスの思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 眼前の花が美しいのは、その花の個体としての色や形のゆえではなく、その花が永遠の「美そのもの」にあずかることによる。
- ② 動植物に様々な種しゅが存在しているのは、種類ごとに固有な形相が各個体に内在し、それが発現してくることによる。
- ③ 生物を含むすべての事物のあり方が個体ごとに異なるのは、それを構成する原子の形態と配列と位置が異なることによる。
- ④ 事物全体は永遠の火として存続するが、個体ごとに変化していくのは、そこにおいて相互に対立する力のうち一方が他方に優越することによる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	3	②	3

2001 年本試

問 2 文中の ・ に入れる語句の組合せとして最も適当なものを，次の
①～④のうちから一つ選べ。

古代ギリシャは，正規の構成員たる「市民」によって自立的に運営される共同体（ポリス）からなっていた。そのポリスにおいて人類史上はじめて「民主制」という政治形態が出現した。ポリスに住まう人間の倫理を追究したアリストテレスにとって，正義は，まさしく「等しさ」を保障することを意味していた。彼はこれを，各人の働きに応じて名誉や報酬をあてがうことで「等しさ」を実現する と，商取引や裁判において当事者相互の利害と得失を勘案して「等しさ」を回復する とに分けたのであった。

- | | | |
|---|--------------|--------------|
| ① | A 配分的正義 | B 調整的（矯正の）正義 |
| ② | A 調整的（矯正の）正義 | B 配分的正義 |
| ③ | A 部分的正義 | B 全体的正義 |
| ④ | A 全体的正義 | B 部分的正義 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	12	①	3